

質問者様

那覇市長
(まちづくり協働推進課)

回 答 書

事業名	コロナ対応まちづくり協働力アップ事業	
	質 問	回 答
	<p><仕様書>P1 1 目的</p> <p>・「・・・よりよい暮らしを実現する」という目的に向けて、本事業での成果目標を教えてください。</p>	<p>・よりよい暮らしを実現するためには、市民と行政との協働がなくてはならないと考えています。本事業は、市民と行政の協働する力を高めるため、市民活動団体の課題や悩みに対応する相談の中から、協働の取り組みのコーディネートまでつなげることを意識した事業となっています。よって、昨年度までに当事業で実施した相談対応や類似の相談の中から、今年度の協働コーディネートとして3件以上つなげることも成果目標としております。また、市として、協働コーディネートの必要性について検証することも考えているため、その検証ができる協働コーディネートの実績づくりも成果目標となります。</p> <p>また、15件以上の専門相談対応、3件以上の勉強会・シンポジウム開催、コラボチャレンジ発行で協働の取り組みを広く知らせること自体が、地域の課題解決の取り組みを支え、協働を促進することにつながる成果目標だと考えております。</p>
	<p><仕様書>P1 1 目的</p> <p>・本事業へ積み重ねる令和3年度の事業成果をどのように捉えていますか。</p>	<p>・令和3年度の事業成果としては、相談業務、協働の手引き作成、こらぼチャレンジ作成を通して、コロナ下で活動を制限されている市民や団体が、抱えている困難（課題）を自分達なりに整理し、道筋を立てて取り組むことへの一助となったと捉えています。</p>
	<p><仕様書>P1 1 目的</p> <p>・「コロナ下及びコロナ後の社会課題や地域課題」について具体的に何を見据えていますか？</p>	<p>・コロナ下では、人との繋がりがどうしても希薄になるため、声を上げられない人や声が届きにくく社会的に弱い立場の方とも、その繋がりを持ち続けられる方法を、ゆるくでも継続していけること。また、その人達の声拾っていける仕組みづくり（地域づくり）を課題の1つとして考えています。</p> <p>具体的には、日常生活が困難である子どもやその世帯との関わり、また安全・安心なまちづくりとして地域力が求められる（多くの方が関わらないと進められない）自主防災組織の設立などを見据えています</p>

<p><仕様書>P1 5 委託業務内容 (1) 専門相談業務①対象となる相談者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇市として重点をおきたい対象はありますでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の実績として、子どもと関わる市民活動団体の相談やNPOの運営についての悩みの相談が多くありました。ニーズが高いと思われるので、子どもやNPO支援に重点を置きたいと思います。
<p><仕様書>P2 5 委託業務内容 (1) 専門相談業務①相談の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度「那覇市民活動支援センター」として市民活動団体等から受けた内容について教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の立ち上げ方、組織運営、活動の進め方、資金調達について、助成金の申請方法、関係団体を紹介してほしいなどの相談を受けています。 (別紙1参照)
<p><仕様書>P2 5 委託業務内容 (1) 専門相談業務①相談の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2)なは市民活動支援センターの相談機能の強化とありますが、特に強化したいと考える分野やスキル等を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前述の相談に対応するため、専門相談員以外のスタッフも一定レベルの相談に対応できるよう体制づくりを進めていきたいと考えています。中でも、市民活動を立ち上げたい方に合わせた法人形態(NPO・一般社団法人・協同労働等)やそれらの管理運営・会計について、また資金調達の方法、さらにはファシリテーションの技術などを強化したいと考えております。
<p><仕様書>P3 5 委託業務内容 (2) 協働コーディネート業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「協働の仕組みづくり」について、現時点での那覇市の「協働の仕組み」を具体的に教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の仕組みとして、本市では小学校区まちづくり協議会の設立・運営を支援し、校区での多様な主体による協働を推進しております。また、協働大使の委嘱を行い、協働をコーディネートする方の人材発掘を行っております。さらには、協働大使が活動しやすいよう、協働によるまちづくり推進協議会との連携を図っております。また、協働のパートナーとなる市民活動団体を支援するため、なは市民活動支援センターを設置し、会議室・事務所等の場の提供や助成金交付、相談対応、なは市民協働大学や協働大学院などをはじめとする講座の開催、ボランティアマッチングなどを行っております。
<p><仕様書>P3 5 委託業務内容 (2) 協働コーディネート業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「協働コーディネート業務」において、今年度目指す成果を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件に対する例示として、「①子どもに関すること。②地域の防災(安全・安心)に関すること。③なは市民協働プラザ入居者を対象とすること。」の3つをあげております。具体的には、支援を必要とする子どもやその子どもがいる家庭への支援、安全・安心なまちづくりとなる地域防災力の向上、及び協働プラザにおける課題解決に向けた促進、すなわち関係者を集め、課題を共有・見える化し、具体的な活動に取り組める関係づくりまでを成果と考えております。
<p><仕様書>P3 5 委託業務内容 (2) 協働コーディネート業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点のなは市民協働プラザの入居者を教えてください。 	<p>入居団体一覧は別紙2を参照してください。</p>